# 令和4年度　岩出小学校　学校評価シート

| 教育目標 | 人権尊重の精神を基盤に、未来に向かってたくましく生きる子どもの育成 | 学校名 | 岩出市立岩出小学校 | 校長名 | 谷川　美香 |
|---|---|---|---|---|---|

| 目指す学校像 | (1)子どもたちが学び合い、共に育ち合う学校　(2)保護者や地域から信頼される学校<br>(3)安心安全な学校づくりに向け、防災・防犯に努める学校 |
|---|---|

| 目指す児童像 | (1)進んで学びよく考える子ども　(2)思いやりがあり心豊かな子ども<br>(3)元気でたくましい子ども |
|---|---|

| 本年度の目標 | |
|---|---|
| 1 | 確かな学力の向上 |
| 2 | 豊かな心の育成 |
| 3 | 健やかな体の育成 |
| 4 | 地域に開かれた学校 |

| 達成度 | | |
|---|---|---|
| A | 十分達成した(90%以上) |
| B | 概ね達成した(80%以上) |
| C | あまり十分ではない(70%以上) |
| D | 不十分である(70%未満) |

| 学校評価の結果と改善方策の公表方法 |
|---|
| 学校ホームページで公表<br>校報「岩小だより」で周知 |

## 自　己　評　価

| 重点目標 | | | | 年度評価(令和5年3月1日現在) | | | | 学校関係者評価<br>令和5年3月10日　実施 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的な取組 | 評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への改善とその方法 | 意見・要望・評価等 |
| 1<br>確かな学力の向上 | 今年度より、3年計画で、「算数科において、数学的に表現し、伝え合う児童の育成」と研究主題を設定し取り組んでいる。<br>児童間での学力差が大きくあり、なかなか縮めることができないのが現状である。 | (全国学力調査)県到達度調査・市学力調査<br>○学校評価調査票<br>教員・保護者<br>○学習と生活に関する児童アンケート | ◎「和歌山の授業づくり　基礎・基本3か条」を活用し授業スタイルを統一する。<br>◎学級活動を充実させる。<br>○岩小タイム、補充学習、終学の内容の改善や工夫(担任外教員の支援体制)に取り組む。<br>○漢字博士試験年3回実施(強化週間実施)<br>◎学力調査結果を活用し授業の工夫改善を図る。<br>○家庭学習・自主学習を推進する。<br>○読書活動を推進(図書館司書やボランティアの活用)する。<br>○学習環境の整備と充実を図る。<br>○ICTの活用 | ①(全国学力調査)県到達度調査・市学力調査で全国・県・市平均を上回る。<br>②「国語・算数・理科の授業はよく分かる」　児童評価90%以上<br>③「子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている」保護者評価90%以上<br>④九九の定着100%<br>⑤「自主勉がんばり賞」獲得児童数　年間のべ500人以上<br>⑥「たくさん読んだで賞」獲得児童数　年間のべ100人以上 | ①全学力学習調査<br>6年　国語　全－1.6　県－1.0　市－1.0　算数　全－0.2　県　0.0　市＋1.0　理科　全＋7.7　県＋8.0　市＋9.0<br>市学力調査<br>3年　国語　全＋2.5　市＋0.2　算数　全＋7.7　市＋3.1<br>4年　国語　全＋0.6　市－4.3　算数　全＋2.1　市＋0.4<br>5年　国語　全－4.6　市－3.2　算数　全＋1.8　市－7.0<br>県到達度調査<br>4年　国語　県＋0.4　市－1.1　算数　県＋1.5　市＋1.8<br>5年　国語　県－0.9　市－2.6　算数　県＋0.3　市＋0.3<br>理科　県＋4.8　市＋2.8<br>②92.0%<br>③93.5%<br>④100%<br>⑤1.390名<br>⑥173名 | B | 今年度の取り組みの成果が出る県到達度調査では、県、市とも5年生の国語において平均より下回っていたが、他は、概ね上回る結果となった。しかし、まだまだ全体的な底上げは必要であり、引き続き学力向上に向け、基礎基本の定着や授業改善や工夫に取り組んでいく。 | ・子どもたちにあいさつ運動や見守りで出会うと、気軽に声をかけてくれる。今後は、学校で、知らない人＝悪い人でないことなど見きわめ方を教えることも必要ではないか？例えば、オレンジ色のジャンパー着用の人や、腕章を付けている人は、見守りの方であることを知らせることが必要である。<br>・コロナ禍で、人とふれあう機会が少なくなり、あいさつをあまりしなくなったのではないか。<br>・船戸・山崎地区は、子どもの数が減っている。見守り時も5名くらいしかいない現状である。<br>・スピードを上げて走行する車が危険であると、第二回運営協議会でお話くださり、警察に委員さんからお願いしてくれたお陰で、パトロールしてくれるようになり、随分減少した。<br>・大宮神社やお地蔵様の前で、手を合わせている子どもをよく見かけ、心が育っていると感じる。<br>・小学校は、来校してもらってのボランティアで、中学校は生徒が外に出て行ってのボランティア<br>・竹馬の購入を考えてほしい。<br>・家庭に問題がある不登校児童については、民生委員は把握しにくいので、学校との連携をより深める必要がある。また、不登校の原因が発達障害を抱えていることもあると認識することや、市の適応指導教室や、不登校支援員(配置されたら)を活用していくことも引き続き進める。 |
| 2<br>豊かな心の育成 | 自尊感情や、自己有用感が低い児童が多くいるので、高められるよう取り組んでいる。 | ○学校評価調査票<br>教員・保護者<br>○児童いじめアンケート | ◎学級活動や児童会活動、縦割り活動など、子どもたちが主体的に、活躍できる機会を設け、お互いを認め尊重し合える居心地のよい学級・学校づくりに努める。<br>○年3回(学期毎に1回)いじめアンケートを実施する。<br>○「特別の教科 道徳」を充実させる。<br>○SC、SSWを活用する。<br>◎関係機関等(岩出市総合福祉センター、医療機関、支援学校、聾学校、盲学校他)と連携する。<br>○「学校のきまり」「学習規律」「世の中のきまり」の周知に努める。 | ①「学校に行くのが楽しい」 児童評価95%以上<br>②「子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている」　保護者評価90%以上<br>③いじめ解消100%<br>④不登校を0に近づける<br>⑤困り感を持った児童、保護者を関係機関等に100%繋ぐ　⑥「自分には良いところがある」 児童評価90%以上<br>⑦「友達の良いところを見つけることができた」児童評価90% | ①95.7%<br>②96.8%<br>③学期毎に調査しているが、3か月継続観察になっているため、解消に至っていない。(悪い言葉を使ったり、名前を呼ばないで違う呼び方をされたり、いたずらされるなどがある。また、家でのゲームや学童でのトラブルも含まれている。)<br>④4名<br>⑤2名については、保護者理解に繋げられなかったが、丁寧に、関わることを継続している。<br>⑥88.1%<br>⑦87.4% | C | 各学年・学級で、自分の気持ちを伝えることのできる環境づくり、人間関係づくりに取り組んでいる。<br>しかし、総体的に自己肯定感や自己有用感の低さ故のトラブルなども見受けられるため、家庭や地域の協力を得ながら高めていく必要がある。また、あいさつができなかったり、学校の決まりや交通ルールを守れていなかったりの児童が多く、生活指導部を中心に具体的取組を検討し、全教職員共通理解のもと指導を徹底していく。 | |
| 3<br>健やかな体の育成 | コロナ禍の影響もあり、体力が落ちている。<br>高学年になるほど夜遅くまで起きている。 | ○学校評価調査票<br>教員・保護者<br>○学習と生活に関する児童アンケート | ◎「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨し、家庭との連携を図る。<br>○病気や事故、災害等から自分を守るための食育や保健教育、安全教育を充実させる。<br>○情報モラルを指導し、保護者への啓発を行う。<br>○感染症の予防等の徹底。<br>○「朝のトレーニング」や「はつらつタイム」を計画的に実施する。<br>◎体育専科教諭を活用し、体育の技術や知識向上に取り組む。また、全国スポーツテストの結果に基づき、体力作りや授業改善を図る。 | ①「毎朝7時までに起きていた」、「朝ご飯を食べた」児童90%以上<br>②「決められた時刻までに就寝した」 児童70%以上<br>③「朝トレがんばり賞」獲得児童数　年間のべ150人以上<br>④全国スポーツテストA層10%以上、AB層35%以上 | ①「毎朝7時までに起きていた」86.7%<br>「朝ご飯を食べた」92.7%<br>②65.0%<br>③のべ80人<br>④A層9%　B層38% | B | 朝ご飯については、愛育会のご協力により、児童と保護者対象の食育授業を行っていただいたことで、必要性の意識が高まりつつある。また、規則正しい生活が送れているが、高学年になるにつれ就寝時刻が遅くなってきている。加えて、友だちと繋がってのゲームや、LINE等でのトラブルがある。<br>今後、家庭でのゲームや、スマホのルールについて、今まで以上にお願いしたり、学校での指導を進める必要がある。<br>今年度配置いただいた、体育専科教諭を中心に、体育の授業の改善に取り組み、児童が授業を楽しみにしているという結果が顕著に表れている。運動能力に関しても、「朝トレ」への参加促進、計画的な「はつらつタイム」の実施に今後も努める。 | |
| 4<br>地域に開かれた学 | 保護者・地域の理解を得るため、学校の取組や児童の様子を広く周知し、ボランティアの積極的な活用などに努めている。 | ○学校評価調査票<br>教員・保護者 | ◎「よつば」(校報)やホームページ等で、積極的に学校の様子を発信する。<br>○保護者、地域の登下校の見守り活動を実施する。<br>◎コミュニティースクールの充実を図る。<br>(岩小応援団の活用、週1回の交流)<br>○地域人材を活用した学習活動を実施する。 | ①「開かれた学校づくりに努めている」保護者評価95%以上<br>②「学校の取組や子どもの様子がよく分かる」保護者評価95%以上<br>③「子どもの様子を積極的に伝えた」 教員評価95%以上 | ①96.8%<br>②96.8%<br>③100% | A | ボランティアの活用や、ゲストティーチャーなど、コロナ禍の中ではあったが、積極的に行うことができた。また、週1回木曜日のふれあいでは、地域の方にご協力いただいたお陰で、少ない時間ではあるが充実した内容で、子どもたちの居場所づくりとなった。<br>いつも地域の方々から児童や学校に対する気遣いの言葉やまた児童のことで、気にることなど教えていただけ助かることも多くあった。<br>今後も地域資源を生かした教育活動を推進する。 | |